



# 堆肥成分等検査報告書

番号 108

平成30年7月6日

(株)若葉 様

一般財団法人畜産環境整備機構  
畜産環境技術研究所 所長



検査材料受領日 : 平成30年6月20日

検査材料の名称 : 有機

畜種 : 豚 採卵鶏 ブロイラー 乳用牛 肉用牛

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

検査項目	検査結果		検査方法
水分	39.0	%(現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	31.3	%(乾物)	同上
pH	7.4		同上
EC	7.0	mS/cm	同上
窒素全量	3.6	%(乾物)	「乾式燃焼法」による。
リン酸全量	7.1	%(乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	6.8	%(乾物)	同上
石灰全量	11.8	%(乾物)	同上
苦土全量	4.1	%(乾物)	同上
炭素率(C/N比)	10.0		「乾式燃焼法」による。
銅全量	190	mg/kg(現物)	下記*による。
亜鉛全量	1,800	mg/kg(現物)	同上
鉄全量	10,000	mg/kg(乾物)	同上
マンガン全量	1,000	mg/kg(乾物)	同上
発芽率	95	%	下記**による。
酸素消費量	5.8	μg/g/min(現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	-	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	検出限界以下(30 Bq/kg 未満)		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

  

コメント:	堆肥成分診断
<p>加里、苦土がきわめて高い畜ふん混合堆肥です。</p> <p>この堆肥に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素22kg、リン酸43kg、加里41kgです。このうち化学肥料相当分の含量(肥効率)を、窒素10%、リン酸80%、加里90%とすると、化学肥料相当分は、現物1トン当たり窒素2kg、リン酸35kg、加里37kg程度となります。多量施用に注意してください。</p> <p>亜鉛が基準値を超えています。販売する場合、表示義務が生じます。</p> <p>発芽率は高くなっていますが、酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)の値は堆肥化がやや不十分であることを示しています。念のため、施用から作付けまで時間をおくことをお勧めします。</p>	<p>(混合率の高い豚ふん堆肥と比較しました)</p>

\* 財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法  
 \*\* 農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)  
 \*\*\* 一般財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式